



# 自分を信じて夢を叶える

## 幹部へのキャリアを歩んだ女性警察官の仕事観と本音

岐阜県警察本部  
刑事部  
機動捜査隊長  
西田 美乃里



### キャリア

- 1987 岐阜県警察採用(10月)
- 1988 警察学校卒業後  
岐阜中警察署地域課
- 1994 結婚
- 1997 出産、育児休業取得
- 1998 各務原警察署刑事課  
(巡査部長昇任)
- 2003 岐阜北警察署刑事課  
(警部補昇任)
- 2010 各務原警察署 地域課長  
(警部昇任)
- 2013 岐阜北警察署 生活安全課長
- 2014 岐阜北警察署 刑事第一課長
- 2015 警察本部刑事部組織犯罪対策課  
課長補佐
- 2017 岐阜南警察署 警務課長
- 2019 警察本部総務室広報県民課  
広報官(警視昇任)
- 2020 各務原警察署 副署長
- 2021 警察本部刑事部管理官
- 2022 警察本部刑事部機動捜査隊長

### チャレンジから 積み重ねたキャリア

短大2年生の時(1987年)、7年ぶりに女性警察官採用試験が行われることを知り、チャンス到来と受験しました。試験に合格した時は、念願が叶い本当にうれしかったです。採用後は交番勤務からスタートし、刑事課や被害者支援係での勤務を重ねて今に至ります。現在は、機動捜査隊長として初動捜査の指揮に当たり、多くの隊員をまとめ、事件の早期解決のため日々奮闘しています。自身のキャリアを振り返ると、新たな職域に挑戦し、結果を出すことで後進の道を開き、そして、岐阜県初の女性警部として部下を率いる立場になったことが大きなキャリアステップだったと思っています。周りの意見を傾聴し、被害者と共立することで学ぶことも多く、相手の立場に立った活動を心掛け、これから女性活躍へのチャレンジを続けていきたいと思っています。

### 前を向いて行けば必ず 夢が実現する環境があります

採用当時と比較すると、女性の職域は広がったほか、育児休業等の制度も大きく変わり、結婚や出産を理由に退職する職員もほとんどいなくなりました。私自身、両立の大変さから退職を考えた時期もありましたが、苦難な時も前を向き、子育てを通じて学んだことが部下の個性を活かす教育や業務の合理化等につながっていると感ずることも多く、実践しています。また、県警の女性活躍プロジェクトのリーダーとして、いかに女性が活躍できるか、安心して働ける環境をどう整えるかを考え、様々な施策を考案した経験は今に大きく生きています。女性警察官・女性刑事が増え、必要とされる部署で活躍する姿は、頼もしく感じます。制度等を上手く活用し、かつチャレンジすることを恐れず、個性や能力をいかに発揮し活躍して欲しいです。



### めざすあなたにエール

警察には、女性ならではのソフトな対応や感性が重要視される場面があり、皆さんの力を必要としている被害者の方が大勢います。また、社会貢献を実感できる職業です。失敗を恐れず、地域に必要とされる警察官を目指すチャレンジを待っています。一緒に地域の皆さんに安心してもらえる強い組織を作っていきましょう。

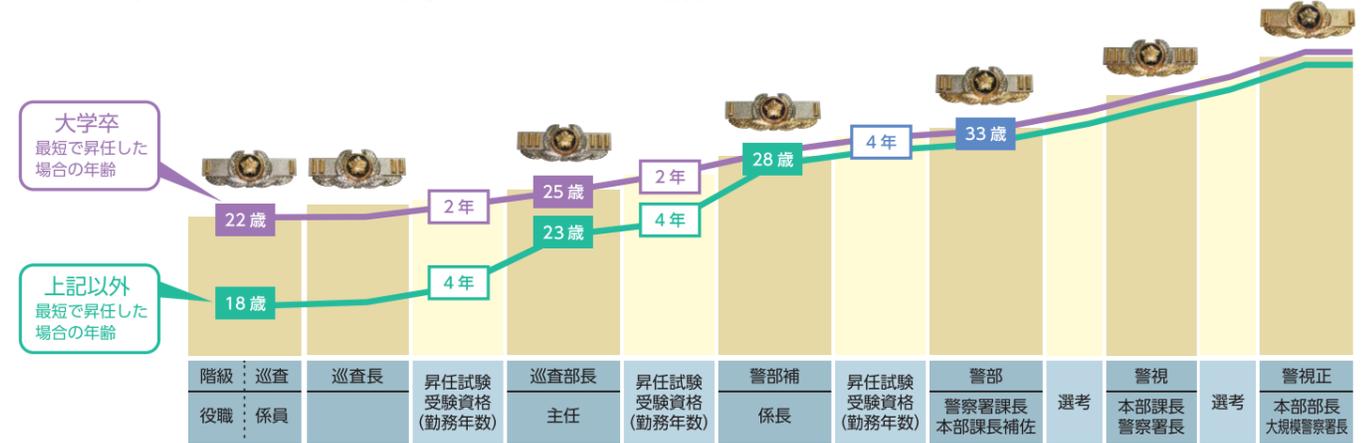


## 成長と継続のしくみ

# 長く続くキャリアのために

### ▶ 昇任制度:学歴・性別を問わず、平等に昇任の道が開かれています

採用試験に合格すると警察学校に入校して「巡査」からスタートします。大卒者は概ね2年、大卒以外の者は概ね4年で昇任試験を受験でき、巡査部長を経て警部補・警部・警視・警視正へと昇任できます。年齢や性別、学歴関係なく全員に昇任の道が開かれており、努力と実績次第で誰もが平等にキャリアアップを目指せます。



### ▶ 教育制度



警察学校における教養のほかにも、時代のニーズに応え、各専門分野のプロフェッショナルな警察官を養成するために多種多様な研修プログラムを用意しています。

### ▶ 休暇制度



年間20日間の年次休暇に加え夏季休暇や結婚休暇、産前産後休暇、子どもの看護休暇等の各種休暇制度が充実。ワークライフバランスを積極的に推進しています。

### ▶ 勤務体系



1週間当たりの勤務時間は38時間45分となり、8時30分から17時15分まで(一例)の日勤制勤務のほか、職種により当番・非番・週休を繰り返す交替制勤務があります。

### ▶ 福利厚生



健康で働きやすい職場であるために各種保険制度に加え、定期健康診断等も実施。さらに余暇の充実とリフレッシュのために警察共済組合が提携している全国各地のホテル・旅館、レジャー施設等や各種サービスを割引料金で利用できます。

### ▶ 職員宿舎



各地に家族住宅や独身寮を完備しており、快適な生活を送ることができます。